

秋保大滝植物園だより No.14 夏号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は夏です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



リョウブ【合法】 花：7月上旬～下旬
鱗片となって剥がれた樹皮が美しく、柱などに利用される。新芽を山菜として利用している地域もある。園内自然林に多い。



ニワウメ【庭梅】(リンショウバイ)
実：7月下旬～8月 スイレン池の南入口付近にある。実は赤紫色に熟し食べられる。春先ウメに似た花を咲かせる



アキカラマツ【秋唐松】 花：8月～9月
土手などに多い。茎の上部に大きな円錐花序を出し、淡黄白色の小さな花を沢山咲かせる。



ジンバイソウ【神拝草】 花：8月
園内では、北自然林に多く生えている。葉の表面に艶があり、縁は波状に縮れている。花は淡緑で目立たないが、拝んでいるような姿が面白い。



エゾアジサイ【蝦夷紫陽花】
花：6月中旬～7月上旬
葉は広楕円形。装飾花は青紫で美しい。秋保の二口周辺でも野生が見られる。



ニワフジ【庭藤】 花：5月下旬～6月中旬
蔓植物ではないが、蔓のように細い枝を伸ばす。こちらの方に野生はない。



クズ【葛】 花：7月下旬～8月
秋の七草のひとつ。生命力が強く、他の植物に絡んで生育に害を与える。花は大きく良い香りがする。



リアトリス 園芸品
花：7月中旬～8月 キク科の多年草。小さな花が密に穂状につく。



アマギアマチャ【天城甘茶】
花：6月中旬～7月上旬
葉は他のアジサイに比べると細長い。装飾花は白に近い。



マタタビ【木天蓼】花：6月中旬～7月上旬
花の頃、葉が白くなり目立つ。植物園周辺の県道沿いにも多く自生している。



キリンソウ【麒麟草・黄輪草】
花：6月 葉は多肉質。茎の先に多くの黄色い花を咲かせる。園内での野生はない。



ヒメシャガ【姫射干】
花：5月
やや乾いた林下を好む



サツキ【躑躅】 品種
花：6月上旬～下旬 二重咲きの品種。他のツツジ類が終わりを迎えるころに咲き始める。



クガイソウ【九階草】 花：6月下旬～7月中旬
ゴマノハグサ科から、オオバコ科になった。葉は4～8枚が輪生し、青紫の種のような花を咲かせる。



ソバナ【蕎麦菜】
花：7月 淡い紫色をした釣鐘型の花を咲かせる。



シロバナセイヨウウツボグサ
帰化 花：5月～6月
白い花を咲かせる



コムラサキ【小紫】(コシキブ)
花：6月下旬～7月中旬 小さくて目立たないので、見過ごすことが多い。紫色の実が美しい。



アカソ【赤麻】 花：6月下旬～8月
雌花は上部の葉腋につき、雄花は下部につく。葉の先は大きく3裂し、尾状に尖る。



タケニグサ【竹似草】 花：7月中旬～8月
「空地の風景」に生えている大形の植物。茎は中空で、切ると黄色い汁が出る。日本では嫌われものだが、欧米では園芸植物にされる。



ニホントカゲ【日本蜥蜴】 爬虫類
時期：春～秋 子供の時は青く光り、親になると茶色っぽくなる。肌はつるつるとしている。暖かい日中、石の上で日向ぼっこをしている姿がよく見られる。